

(3) 授業時間の工夫

**こんな実践**

短時間学習を設定しようとしたもの、どのように45分単位時間の授業を関連付け、どのような学習内容を設定すればよいのか、悩むことがあります。ここでは、Lesson Goal 達成に向けて短時間学習と45分単位時間の授業を関連付けた単元展開を紹介します。

実践学校 M小学校 (学級数：20 生徒数：612)

実践学年 6学年

実践時期 12月初旬

単元名 Unit 8 What do you want to be?

- M小学校では、図工で作成した「将来の自分」の作品を使って、「What do you want to be?」の単元で、「自分の将来の夢を理由とともに伝え合おう」という Lesson Goal を設定しました。この Lesson Goal を達成するために、次のように、45分単位の授業(図1)と短時間学習(図2)を関連付けた単元を構想しました。



<単元展開>

1	私たちの身の回りにある職業を知ろう。 (Unit Goal の設定)
2	自分のつきたい職業を伝え合おう。 (What do you want to be? -I want to be a vet.)
3	自分のつきたい職業について、理由を含めて伝え合おう。 (I want to be a vet. I like animals.)
4	友達の将来の夢を聞いて、だれの夢かを当てよう。

<短時間学習で扱う内容>

1	p. 59	Let's Play (職業名)
2	p. 59	Let's Play (I want to be~)
3	p. 59	Let's Chant
4	p. 60	Let's Watch and Think 2
5		得意なことを伝え合おう
6	p. 61	Let's Watch and Think 3
7	p. 61	Let's Listen
8	p. 62	Let's Read and Write 1
9	p. 64	Let's Watch and Think 4
10	p. 64	Let's Read and Write 2
11	p. 65	Story Time

- 45分授業では、ティーム・ティーチングのよさを生かし、学級担任とALTによるやり取りのモデルを示したり、新しい語彙・表現の導入や正しい発音に慣れ親しんだりする活動を中心に単元を構想しました。

学級担任が1人で行う短時間学習では、教材 We Can の Let's Listen や Let's Watch and Think を扱い、その前後に学級担任と児童のやり取りを行い、表現の定着を図るようにしました。



### ここがポイント！

- Lesson Goal 達成に向け、45分の授業と短時間学習の内容を関連付けて単元を構想しましょう。
- 児童の実態に応じて、言語材料について理解したり練習したりするための指導と言語活動を行いましょう。

実践学年 6 学年

実践時期 8月下旬

単元名 Unit 2 Welcome to Japan

- Lesson Goal 「東京オリンピックに来た外国人に日本の良さを工夫して知らせよう」を設定した単元で、45分授業で日本の食べ物の紹介の仕方を学びました。短時間学習では、日本の有名な花火を紹介する活動を行いました。

45分授業で行ったように、学級担任と児童がやり取りしながら、花火についての語彙を共有し、ペアで花火について紹介をしました。

子どもたちは、「You can see fireworks. It's summer. It's colorful. Summer festival.」のように、共有した語彙をもとに伝え合いました。既習表現を生かし、使いながら表現を獲得していく姿が見られました。



### ここがポイント！

継続的に英語に触れることができる短時間学習の良さを生かして、英語で紹介をし合う言語活動を位置付けることで、児童が表現を使いながら習得していく姿が期待できます。

### まとめ

Lesson Goal を明確にして、45分単位時間と短時間学習を関連付けた単元を構想しましょう。

Let's Listen や Let's Think と関連付けた言語活動や児童同士で伝え合う言語活動等を設定し、児童が自分の考えや気持ちを表現できるようにしましょう。